

(様式1)

写真貼付

教員選考申請書

ふりがな 氏名		性別 男・女	現住所	〒
生年月日(年齢)	年 月 日(歳)	連絡先		
申請職名		メールアドレス		
	年 月 日	事項		
学歴・学位等			
職歴			
学会及び社会に おける活動等			
賞罰			
上記のとおり相違ありません。				
年 月 日				
氏 名				
印				

(様式2)

研究業績書

年 月 日

氏 名

印

	著書学術論文等の名称	単著, 共著 の別	発行又は 発表の 年 月	発行所, 発表雑誌 等又は発表学会の 名 称	概 要

(様式3)

教 育 業 績 書

1 所属機関における担当授業科目とその内容及び期間

所属機関名	担当授業科目	授業等の内容	期間

2 所属機関以外での特別講義，ゼミ等（資料があれば添付してください。）

大学名等	特別講義等の名称	講義等の内容	期間等

3 大学教員としての教育についての抱負（1,000字程度）

--

4 所属機関内での各種委員会等における活動実績

委員会等の名称	委員の期間	委員会での担当等活動実績

(様式4)

外部資金の獲得状況

資金制度・研究費名	配分機関等名	研究課題名(研究代表者氏名)	代表・分担の別 期間全体の研究費総額	期 間

教員選考申請書等記入要領

全般的事項

- 1 記入にあたっては、黒インク又は黒ボールペンを用い、楷書で記入すること。
(ワープロも可。ただし、氏名は自筆のこと。)
- 2 外国語は、必ず活字体で書くこと。

履歴書

- 1 「年齢」は、採用発令予定日現在の満年齢を記入すること。
- 2 「申請職名」は、公募文書の「職種」と内容を一致させること。
例：講師又は助教 どちらか一方でなく、必ず「講師又は助教」と記入すること。
- 3 「連絡先」は、自宅、勤務先、携帯のいずれか連絡のつきやすい電話番号を記入すること。
- 4 「学歴・学位等」について
 - (1) 大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上と認められる学歴を有する者は、すべての学歴について記入し、その他の者は、最終学歴について記入すること。
<例> ㊦ 45.4. 大学 学部 学科入学(西暦で記載する場合は、1970.4. 大学 学部 学科入学)
" 49.3. 同上卒業
" 49.4. 大学大学院 学研究科(修士課程) 学専攻入学
" 50.3. 同上修了(学修士)
" 50.4. 大学大学院 学研究科(博士課程) 学専攻入学
" 54.3. 同上単位取得退学
" 59.8. 博士(〇〇〇学)(大学)
 - (2) 参考となる「資格」を記入すること。
- 5 「職歴」について
 - (1) 職歴のすべてについて記入すること。なお、各職歴については始期及び終期を明確にし、現職については必ず「現在に至る」と記入すること。
 - (2) 大学の教員の職歴については、主な担当科目名を()で付記のこと。
 - (3) 研究者としての外国留学、研究生、聴講生、副手等も記入すること。
- 6 「学会及び社会における活動等」について
 - (1) 本人の専攻、研究分野等に関連した事項についてのみ記入すること。
 - (2) 大学の教員の場合、所属する大学の委員を除き、審議会等の主たる委員会の委員について記入すること。

研究業績書

研究業績は、「著書」、「学術論文」及び「その他の業績」に区別し、該当小見出しを記入するとともに、その区分ごとに年代順に記入すること。

なお、学会誌等に発表予定の研究業績については、その旨の証明書を添付のこと。

ただし、投稿予定のものは含まないので留意すること。

- 1 「著書、学術論文等の名称」について
 - (1) 「著書」

二人以上で執筆した場合も、担当執筆頁数の多少にかかわらず記入すること。その際、担当執筆部分は単著であっても「共著」として扱い、「名称」欄には、本の表題を記入し、担当執筆部分の名称は「概要」欄に記入すること。
なお、その本がシリーズものの一部である場合はシリーズ名、当該巻数を付記のこと。
 - (2) 「学術論文」

論文集、学術雑誌、学会機関誌、研究報告、紀要等に「学術論文」として発表したもののみ記入すること。
学位論文が単行本として刊行されているものでも「著書」の区分には入れず、「学術論文」の区分に入れ、当該論文の名称の下段に(博士論文)又は(修士論文)と記入すること。
 - (3) 「その他の業績」
 - ア 「制作等」

芸術分野における制作、展覧会出品、個展、作曲、リサイタル、演奏、指揮等について、技術分野における設計、製作、発明、デザイン等について、体育分野における記録、競技歴等についてそれぞれ記入すること。
 - イ 「翻訳」

学術的価値のある「翻訳」についてのみを記入すること。

なお、その「名称」欄には、原作者又は編集者名をカタカナで表記し、下段に邦訳の表題を記入すること。

ウ 「学会発表」

学会レベルにおける口頭及び要旨発表等を記入すること。

エ 上記以外の業績

「書評」、「資料紹介」、「学会情報」、「解題」、「調査報告」、「研究情報」等すべての業績について記入すること。

2 「単著、共著の別」について

区分ごとに下記のとおり記入すること。

(1) 「著書」及び「学術論文」

「単著」又は「共著」のいずれかとする。

(2) 「翻訳」

「単独訳」又は「共訳」のいずれかとする。

(3) 「学会発表」

「単独」又は「共同」のいずれかとする。

(4) 「制作等」及び上記以外の業績

「単著」、「単独」、「共著」、「共同」のいずれかとする。

3 「発行又は発表の年月」について

(1) 次のように記入すること。

<例> 平成23年8月の場合 平成23.8 又は 2011.8

(2) 学位論文については、大学から学位を授与された年月を記入すること。

4 「発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称」について

(1) 「学術論文(学位論文を除く。)」及び学術雑誌等に発表された「翻訳」の場合は、当該発表雑誌等の誌名のほか、巻・号まで記入すること。

(2) 学位論文については、学位を授与された大学名を記入すること。

(3) 「学会発表」の場合は、学会大会名、開催場所等を次のように記入すること。

<例> 学会 回大会(於 大学)

5 「概要」について

研究業績ごとにそれぞれ200字以内で簡潔に記入し、末尾に著書、論文集等の判型及び総頁数(学術論文等の場合は掲載部分の頁数)を記入すること。なお、共著の場合は、本人の氏名を含め共著者全員の氏名(著者名が多数にわたり、主な著者数名を記入し以下を省略する場合は、その頁数と、掲載されている順番を 番目と記載)、本人の担当部分を記入(本人の担当部分が明確にできないときは、その理由を、例えば「共同研究につき本人担当部分抽出不可能」等記入)すること。

外部資金の獲得状況

1 「資金制度・研究費名」は、研究費の名称を記入すること。

2 「研究課題名(研究代表者氏名)」は、研究課題名を記入すること。なお、研究分担者で参画している場合は、()書きで当該研究課題の研究代表者等の氏名を記入すること。

3 「代表・分担の別、期間全体の研究費の総額」は、当該研究者の役割が研究代表者の場合は「代表」と、研究分担者の場合は「分担」と記入すること。また、期間全体の研究費の総額については、本人が受け入れ自ら使用する研究費の直接経費の総額を記入すること。なお、研究分担者の場合は、本人が受け入れ自ら使用する分担金の総額を記入すること。

研究業績書

年 月 日

氏 名

印

	著書学術論文等の名称	単著, 共著 の別	発行又は 発表の 年 月	発行所, 発表雑誌 等又は発表学会の 名 称	概 要
1	著書	単著	年代順に記載		業績毎に200字以内で概要を記入 B5, 総頁数250
2 ⋮		共著			
1	学術論文	単著		第 卷第 号	A4, P1 ~ P50
2 ⋮		共著		第 卷第 号	共同執筆者 (本人含む) A5, 総頁数714, 担当部分P175 ~ P196
1	制作等	単独			共同研究者 (本人含む) B5, P9 ~ P17
2 ⋮		共同			共同制作者 (本人含む)
1	翻訳	単独訳			
2 ⋮		共訳			共同翻訳者 (本人含む)
1	学会発表	単独		学会 (於 大学)	
2 ⋮		共同		学会第 回大会 (於 大学)	共同発表者 (本人含む)
1	書評	単著			
2 ⋮					